



各 位

平成30年7月27日

会社名 株式会社 三陽商会
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員 岩田 功
 (コード番号：8011 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経理財務本部副本部長 兼経理部長 伊藤 譲
 TEL (03) 6380 - 5346

平成30年12月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年2月14日に公表いたしました平成30年12月期第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）の連結業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月14日に公表いたしました平成30年12月期通期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成30年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績との差異（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,500	△ 800	△ 800	2,000	159.14
今回実績(B)	29,266	△ 807	△ 738	3,006	239.19
増減額(B-A)	△ 1,233	△ 7	61	1,006	—
増減率(%)	△ 4.0	—	—	50.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	31,891	△ 1,626	△ 1,709	△ 211	△ 16.81

2. 平成30年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,000	50	100	2,500	198.92
今回修正予想(B)	60,500	△ 1,600	△ 1,500	2,100	167.10
増減額(B-A)	△ 2,500	△ 1,650	△ 1,600	△ 400	—
増減率(%)	△ 4.0	—	—	△ 16.0	—
(ご参考) 前期実績(平成29年12月期)	62,549	△ 1,907	△ 1,941	△ 1,025	△ 81.62

3. 業績予想と実績との差異及び通期業績予想修正の理由

平成30年12月期第2四半期連結累計期間につきましては、事業構造改革に伴うブランドの撤退や廃止等も一巡しましたが、過剰だった繰越在庫の削減に注力した反面、1月、2月はマークダウン時期における販売機会の逸失などにより、売上高は当初業績予想を下回りました。また既存事業への宣伝販促費等マーケティング投資をこれまで手控えたこと等も売上高の未達要因と考えております。一方で売上総利益率の改善と販管費の削減等により、営業利益、経常利益面においてはほぼ当初業績予想並みの結果となりました。加えて当社保有不動産（三陽商会青山ビル等）を売却したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益では当初業績予想を上回りました。

平成30年12月期通期連結業績予想につきましては、主販路の百貨店チャネルにおいて引き続き厳しい推移をすることが予想されることに加え、夏物マークダウンの開始が6月後半に前倒しになったことによる下期売上高へのマイナス要素が見込まれ、売上高及び利益面において当初業績予想を下回ることが想定されます。こうした環境下、売上高を確保し再び成長軌道に戻すための積極施策として、成長販路であるEコマースへの追加投資、及びこれまで手控えていた既存事業への宣伝販促費等マーケティング投資の増額を実行すること等を踏まえ、前回発表予想を上記のとおり修正いたします。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上